

ちづ 智頭議会 だより



町の花
どうだんつじ

鳥取県智頭町議会

第148号

発行：令和元年10月18日

智頭の思い出シリーズ37

写真：昭和30年代

鳥取営林署 沖ノ山森林鉄道

沖ノ山国有林から伐り出した木材を台車に積み、運び出す様子。この鉄道は、大正11年に敷設が開始され、昭和42年に廃止された。現在、旧山形小学校の中に『智頭の林業関係資料展示室』が常設されており、176点が鳥取県指定有形民俗文化財として指定された。

☆決算認定で付帯意見…P3

☆おせっかい奨学金条例で賛否…P5

☆9人の議員が町政に質問…P7

新体制で議会始動

委員会条例で、任期は2年とされており、議会内の選挙の結果、新体制となりました。



町民からの信頼と責任ある議会へ

議長 大河原昭洋

この度、議長に就任させていただき身に余る光栄であるとともに、同時に議決機関である議会の長としての責任は極めて重大であり、改めて身の引き締まる思いです。

本町は今、著しく進行する人口減少、少子高齢化という誰も経験したことのない時代を迎えています。そのような厳しい状況に対応する医療、福祉、教育の充実や地方創生の取り組みなど、重要な政策課題が山積しています。この大きな課題解決に向けて、町民の皆様から更なる信頼を得られ

るように議会の改革、活性化、チェック機能のより一層の充実を図ってまいります。

対執行部とは、お互いが智頭町発展のために日々切磋琢磨することは当然であります。私たちが「一歩離れて二歩離れるな」と言われるように、一定の距離感を保つことなく、議長としての職務である議員各位の意見をしっかりと聞き、中立かつ公正な立場で、民主的な議会運営に努めてまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



情報発信と議会改革に努めます

副議長 中野ゆかり

我々の任期も、残り2年となりました。議員の仕事は、しっかりと財政を監視しつつ、事業の中身をチェックし、住民の方が暮らし良い町を作っていくという、重要な役割を担っています。

私が副議長に就任させていただいたことにより、特に女性が政治に関し、今以上に関心を寄せてくださるよう、情報発信に努め、来期には議員を志す方が男女共多数出ただけよう努めてまいります。

また、議会の活動をより活性化し、一つ一つの事業を精査する力を高めていけるよう、議会改革にも努めてまいります。

新しい委員会構成

(令和元年7月30日現在)

氏名 (議席番号順)	年齢	当選回数	所属委員会	
			民生広報議連	同和改革監査
安道 泰治	60	1	副	正
國本 誠一	67	1	副	
河村 仁志	57	2	正	副
高橋 達也	60	2	○	正
大藤 克紀	64	2	○	副
岩本 富美男	70	2	○	○
谷口 雅人	65	5	○	正
岸本 眞一郎	70	5	正	○
酒本 敏興	77	8	○	副
中野 ゆかり	51	3	○	正
大河原 昭洋	54	2	○	○

委員会が担当する内容

● 総務常任委員会

総務課・企画課・税務住民課・会計課・教育委員会・水道事業に属すること

● 民生常任委員会

地域整備課・地籍調査課・山村再生課・福祉課・農業委員会・病院事業に属すること

● 議会広報常任委員会

議会広報・公聴に属すること

● 議会運営委員会

議会運営・議会規則・委員会に関する条例等に関すること

● 同和問題調査特別委員会

部落差別をはじめとする一切の差別解消に向け、その取り組み等の調査研究に関すること

● 議会改革調査特別委員会

議会の活性化に向けた改革に関すること

正:委員長 副:副委員長 ○:委員

精度の高い予算編成を行い

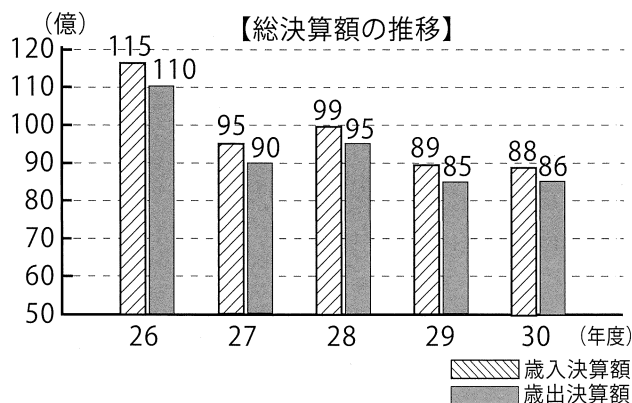
持続可能な財政運営を！

平成30年度決算の認定で付帯意見

9月定例会は、9月9日から20日までの会期で行われました。平成30年度決算認定は、特別委員会を設置して慎重に審査しました。その結果、上程された12議案は、付帯意見（P4に掲載）を付け、認定すべきものとして可決しました。このほか、令和元年度補正予算や条例改定など17議案を原案どおり可決しました。

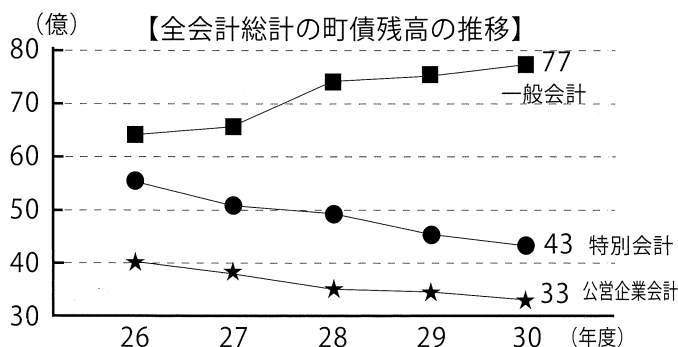
決算 収支

平成30年度 一般会計と特別会計を合わせた歳入決算合計は、88億4500万円で、歳出決算合計は85億5200万円となりました。（病院事業会計及び水道会計を除く）



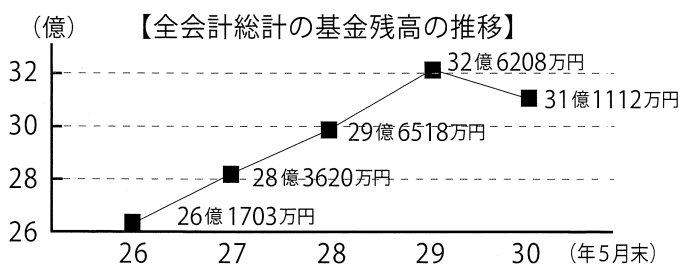
町債

町債とは、町の借金のことです。一般会計、特別会計の合計に病院事業会計及び水道会計を含めた全会計の町債残高は平成30年度末で152億9453万円となり、前年度に比べ、1.5%減少しています。



基金

基金とは、町の貯金のことです。一般会計、特別会計の合計に病院事業会計及び水道会計を含めた全会計の基金残高は令和元年5月末で31億1112万円となり、前年度に比べ、0.5%減少しています。



※上記3つのグラフは平成30年度監査意見書より抜粋

監査意見

更なる財政健全化の取り組みを！

一般会計と特別会計を合わせた単年度収支額は、1億1538万円の赤字である。今後新たな行政需要が見込まれる中、町税などの収入率の向上や受益者負担の適正化を図るなど、一般財源の確保や、事務事業の徹底した精査と選択により、財源の硬直化防止と、弾力性確保が求められる。社会情勢の変化、町民の多様なニーズを積極的に捉え、更なる財政健全化への取り組みを積極的に推進されたい。（監査委員 小林新・大藤克紀）
詳しくは、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。（智頭町議会の中に監査の項目あり）

昨年とはどんな事業をしたったがいな～

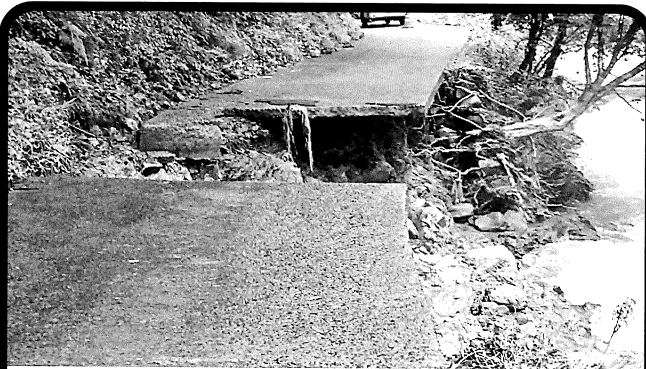
昨年は7月豪雨災害に見舞われたため、天木(土師地区)と横瀬(山郷地区)の森林セラピーロードのグランドオープンが延期になった他、森林作業道整備の見送りや搬出間伐の遅れ、上下水道の修繕などにより、繰越事業や修繕などが多発。

そのような中での、主な事業は下記のとおり。

また、住宅新築資金等貸付事業特別会計について、納税の公平性の観点から、収入未済が増えないように努めるように申し入れた。

30年度
主な事業

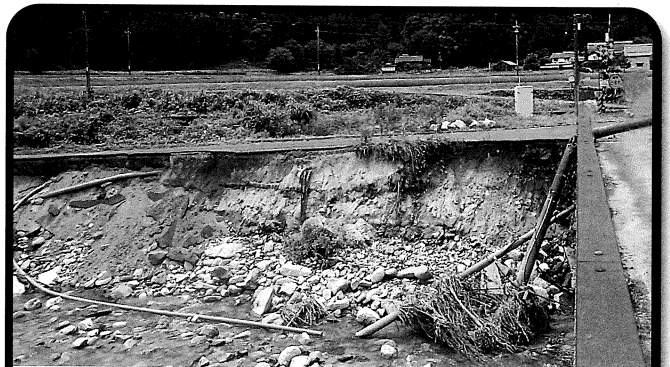
7月豪雨の影響で繰越多発



森林セラピー事業

8,942万円

7月豪雨により3箇所セラピーロードが被災し、体験者が大きく減少した。当初予算より約2000万円減の決算となった。



農業集落排水事業

9,550万円

7月豪雨により土師地区南因と、山郷地区の施設において配水管が崩壊した。その復旧と修繕を行った。



すぎっ子バス運行事業

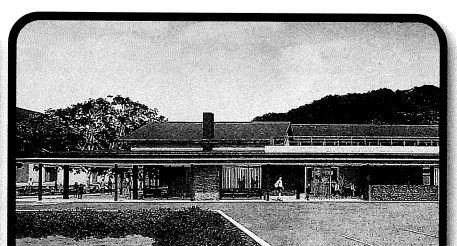
7,246万円

バス2台を新規購入した。運行管理業務委託料も含め、例年より事業費増となった。

地籍調査事業

1億 5,682万円

事業の進捗を早めるため、4年前から山の境界調査業務を智頭町森林組合に委託し、体制を強化。進捗状況を国からも認められ、着実に予算が配分されている。



新図書館建設事業

1億 1,555万円

新図書館建設用地の造成と設計費。総予算は約6億6千万円。

付帯意見 議会から執行部への意見です

人口減少等に伴う町税の減少や公債費の増加など、今後もなお、厳しい財政状況が予想される。限られた財源の中、精度の高い予算編成を行い、効率的かつ効果的な経費支出を図り、持続可能な財政運営に努められたい。

補正予算

主な事業

プレミアム付商品券事業補助金

1100万円

内容：消費税が10月から10%に引き上がったことに伴い、住民税非課税の方、乳幼児がいる子育て世帯に対して、商品券を発行する。(全額国の補助)



恋山形駅仮設トイレ借上料と

清掃委託料 24.7万円

内容：恋山形駅に立ち寄るバスツアーが計画されたら、駅周辺に仮設トイレを設置する。



回答

・仮設の期間と場所、清掃委託先をどう考えているか。

・2ヶ月を想定。場所は検討中。清掃は、地元集落に依頼したく、これから協議する。

質問

福祉課の時間外勤務手当 100万円

・金額が多くないか。
・実績に伴い算出した金額である。



図書館愛称商標登録料 16万円

内容：新図書館の愛称が『ちえの森ちづ図書館』に決定し、その愛称を商標登録するための経費と、図書システムをアップグレードするための経費。

・商標登録は必要か。また、有効期間は何年か。

・同じ商標が登録された場合、使えなくなるため登録する。期間は10年。



質問

回答

その他の議案 主な議案

補助金返還請求事件に係る和解

内容：大麻事件で補助金請求裁判を行ってきたが、8月5日に約640万円(補助金の全額)で和解が成立した。

智頭町教育委員会委員の任命

徳永起宏氏たけひろが任期満了になり再任に同意した。

智頭町おせっかい奨学金条例

詳しくは

「智頭町おせっかい奨学金基金条例」で賛否

町外に居住を移し進学(高校・大学)する本町の子どもに、進学中の生活費を支援し、卒業後10年以内に本町に帰郷(定住)したら、全額返済を免除する制度を行うための基金条例。

【採決の結果、賛成多数 (反対2人)で可決】



反対討論

中野ゆかり
地元から通う学生を支援すべき

対象者が卒業後、本町に帰郷しても、転職や結婚による転出など、人生の移動が多い年齢であり、住民票により毎年実態把握するのは無理がある。また、地元から通う学生を真っ先に支援すべきであるが、対象から外れる。その他5つの理由を述べ反対した。

賛成討論

安道泰治
夢のある基金条例は必要

銀行と行政がタッグを組み、将来智頭町へのUターンを考える大きな視点・材料になると思う。子どもを将来を考える親と、向上心あふれ進学への意欲を持っている子どもを将来のことを考える時、この条例制定は必要な施策だと考える。

陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
大内集落2区 崖ノ谷川改修	大内部落区長	採択
大内集落3区草木谷川改修	大内部落区長	採択
大内集落7区横水路改修	大内部落区長	趣旨採択【※1】
大内集落8区小谷川治山工事(土砂流出防止対策)	大内部落区長	趣旨採択【※2】
会下谷(牛臥山)の崩落箇所修復	上町町内会長	採択
大内集落8区横根川土砂流出防止対策と下流域護岸のかさ上げ・橋の撤去	大内部落区長	趣旨採択【※3】
大内集落8区横根川土砂流出防止対策と上流域砂防堰堤設置	大内部落区長	採択
駐車場新設等にかかる陳情書	那岐地区財産区 議長 那岐地区公民館 館長 いざなぎ振興協議会 会長	採択
町道本折南方線護岸の改修	本折常会長	採択
町道本折線(郵便局前)の補修	本折常会長	採択
福原パーキングのインターチェンジ化に関する要望書	山郷地区振興協議会 会長 山郷地区公民館 館長 山郷区長会 会長	趣旨採択【※4】

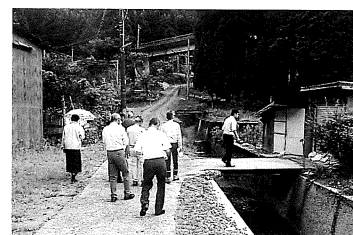
趣旨採択の理由

【※1.2.3】

陳情趣旨は理解した。願意を実現する財源確保のために、所管課を変更した方が良いと判断したため。

【※4】

国が、陳情地区周辺の道路改良をすでに事業化しているため。

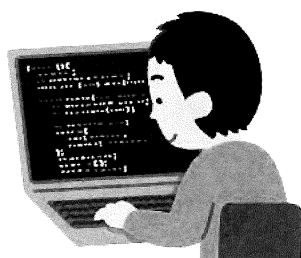


陳情は、所管の委員が現地を見て、陳情者から説明を聞き、判断しています。



町政の課題を執行部に問う 9人の議員が一般質問に臨みました

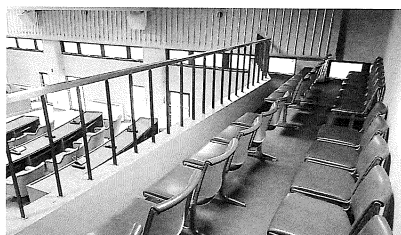
一般質問とは、議員が町政全般について、疑問に思うことを、町長や教育長などに問いたたすことです。



一般質問の録画をインターネットで見ることができます

智頭町議会録画放送

検索



傍聴席は24席あります。9月定例会には、延べ13人の傍聴者がありました。



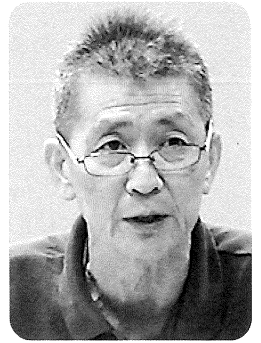
陳情 受付

陳情書は定例会が始まる10日前までに提出してください。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL: 75-3115

gikai@town.chizu.tottori.jp



河村 仁志



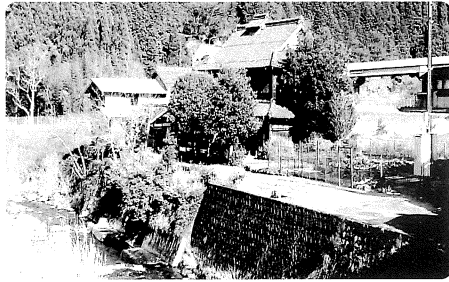
総合戦略

目標設定事業の達成度は

町長／環境づくりができた実感

問 平成28年度に作成された総合戦略アクションプログラム（以下「アクションプログラム」）の目標設定が、今年度末まで4つの基本理念に基づき135事業実施されている。全事業の完結は難しい中、重要施策の『育みの郷構想』の事業達成度は。

答 町長 『雇用の創出』は達成、『移住者数』は子育て世代29世帯89人の移住実績、『女性と子どもサポートセンター』の『いのちね』への委託



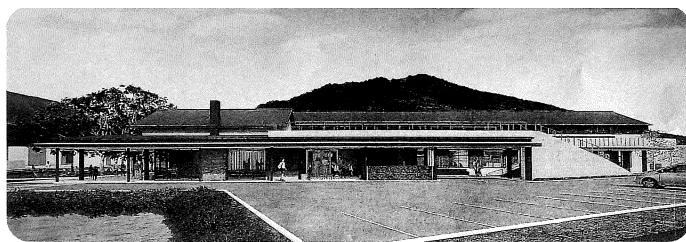
拠点施設予定の民家(中原集落)

の相談・講座は、H28年度利用者延べ67人、H30年延べ542人と増加定着化が図られている。

※SDGs（エスディーゼズ）日本では、昨年度からSDGs達成のために先進的な取り組みを行う自治体を『SDGs未来都市』として選定している。

問 『疎開と癒しの郷』構想では森林を活用した中長期的な受け入れ体制を整備し、地区への収入源を目ざすと記載。森林セラピーなど、10年近くの事業もある。事業目的の管理結果シート評価はD評価のまま。今後どのように取り組みを進めていくのか。

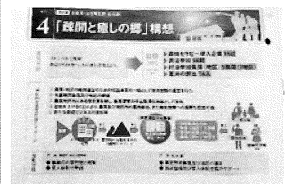
答 町長 『一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ』の達成度をAからEで評価、整備した中長期の滞在受け入れ施設が活用できずD評価とした。SDGs認定を受け、智頭の大きなテーマ93%の山をどう活用するか、これを機に拍車をかけてやっていく。



新図書館外観イメージ図

問 『図書館を中心とした賑わい創出』に関して、周辺環境整備の具体的な計画はあるのか。

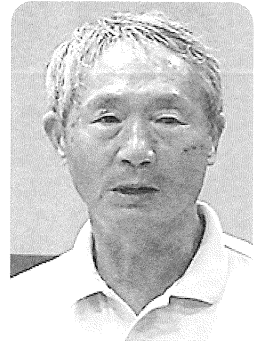
答 町長 図書館と駅前、商店街、宿場町エリアとどう連携するか、図書館だけ建てて終わりではなく、教育長や子どもたち、図書館利用者と話しながらやっていきたい。



総合戦略アクションプログラム「疎開と癒しの郷」構想

問 『起業・創業、既存企業事業拡大に伴う資金確保のシステム構築』の仕組みはどの程度できているのか。

答 町長 起業・創業で、目標20社設定に対し、H30年度末で9社、手数料補助制度で、町内中小企業11社活用。農林業従事者の雨季、冬季の期間のすきまワーク11人雇用、コールセンター30人雇用が生まれた。



岸本 眞一郎



スマート農業
無線操縦草刈機の導入を
町長／鳥取県が一番最初に国へ

問 現在の農業は機械化が進み楽になっていくが、今なお手作業なのが畦畔の草刈りである。暑さと闘いながらの急傾斜地での草刈りは若い人にとっても重労働であり、高齢者にとってはなおさらで農業を止める要因にもなっている。
の農業を支えている間に、人口減少を見据えた水田畦畔の草刈作業の軽減策が必要と思うがどうか。

答 町長 町内の農地は傾斜地を切り開いたものが多いことから、畦畔の面積が広く人力による草刈りは農業を営む上で多大な努力が必要になっていく。そこで、本当にこの地域が切羽詰った問題を集落営農などで県に問いかけ、高齢化社会のなかで鳥取県が一番最初に手をつけ、国にプレッシャーをかけ、国から地方創生という名前でこの問題を解決する方向に持っていくくらいの馬力でいかなければだめだと思っている。



無線操縦草刈機

こうした事案を解決する手段として、無線操縦による草刈機の導入例がでていく。団塊の世代が智頭町

JR因美線
智頭・津山間の利用促進を
町長／何らかのアクションを起こす

問 陰陽を結ぶ因美線も智頭急行が開業してからは、その役割が減少し細々としたローカル線になっていく。特に県境をまたぐ利用者が少ない中で、存続が危ぶまれる智頭農林高校への通学生が3名いるし、年2回のスロワライフ列車も走っている。
リゼーションや少子高齢化の進展などで厳しい状況が続いている。全国で不採算路線の廃止が相次ぐ中、本町としても路線維持困難な可能性は高いと考えられており、存続に向けて何らかのアクションを起こすつもりだ。

答 町長 JR因美線は地域住民の移動手段として重要な役割を担っているが、モータ

※モーターリゼーション
自動車が生かす必需品として普及する現象のこと。



因美線(智頭～津山間)



谷口 雅人



難所解消

町長／標高も下がり、カーブ、勾配も緩和される

国道53号黒尾峠高規格バイパス化

問 昭和39年から同46年にかけて集中的に施工、当時の最高水準の技術を導入、岡山県・鳥取県の最大の難所は劇的に改善されたが、道路の形状は大きく変わったも冬季において最大の難所であることは変わりない。その最大の原因は、標高582メートルの高さにある。今回指摘の問題解消をする必要をどう認識しているのか。

答 町長 平成29年『美作岡山道路』のさらなる北部延伸について、岡山県側3市町、鳥取県側2市町の研究会で美作市側から那岐地区へのルート、鳥取道大原インターへの2案が示された。那岐地区ルートは整備候補のひとつでもあり、現行ルートより標高も下がり、カーブ、勾配も緩和される。関係市町と連携、協議研究を重ね、要望活動を行っていくことになる



黒尾トンネル鳥取県側入口

であろうと考えている。

問 このルートは町内で完結する。その意味で政治が主導すべき。智頭町には町長しかない。

答 町長 美作市長にもお会いして、私の気持ちや伝え戦略を練り、ではこういう線で行きましようという線でスタートを切りたい。

夏季閉庁

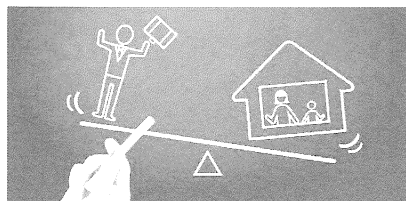
組織の鉄則、報告・連絡・相談

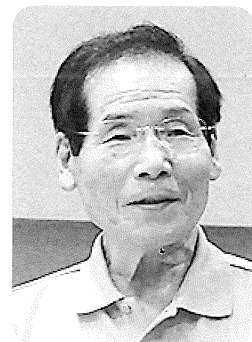
町長／私の目の黒いうちは、閉庁は絶対に

問 夏季閉庁に取り組み、働き方改革の実現について問う。賛否両論があるのは十分に認識しているが、実質的に開店休業状態のお盆期間の閉庁ができないか。組織の鉄則『ほうれんそう』報告・連絡・相談、これが虫食い状態の人事状態の中では完結しない。働くべきは働く、休むべきは休む。その中で仕事を完結し、役場として住民サービスはやっていくべき。町民の理解を得ることは十分可能であると思う。鳥取県庁はすでに実施している。

答 町長 私にとって、お盆だから一切閉庁するということはありません。私の目の黒いうちは、閉庁は絶対にはない。

WORK LIFE BALANCE





酒本 敏興



福祉事業

「智頭町わが町支え愛活動」を問う
町長／地域福祉の充実に向かう

問 智頭町の福祉計画が策定されている。私たちに何が必要か、何ができるのか、町民に投げかけている。

答 地域と防災の地域づくりへ、住民自らが率先して活動するためにどうするのか。行政の具体的支援策を以下に聞く。
『地域支え愛会議』の立ち上げ状況と先進的な取り組み事例を知りたい。

答 町長 町内の現53

集落で実施、2年目以降は23集落が継続している。

事業内容は、避難訓練や地域防災福祉マップ事業で町づくりに寄与している。

問 実施集落は約61%、目標の全集落に満たないが、町の取り組みはいかがか。

答 町長 職員の呼び掛けに、呼応する集落は少ない。集落にとっても大変な共同作業と

考えるが、町と職員が一体となつて理解を求めたい。

問 『地域支え愛会議』と『支え愛マップづくり』は、どう連動しているのか。

答 町長 支え愛マップで明らかにした地域の福祉課題を話し合う事業である。

地域課題は様々、それぞれの声に反応したい。

問 2年目の事業継続に向けて、『防災村づくり』の具体的な行政支援策をどうするのか。

答 町長 2年目の事業も補助対象に、勸奨通知などで事業導入へ、集落の自発性を待ちたい。

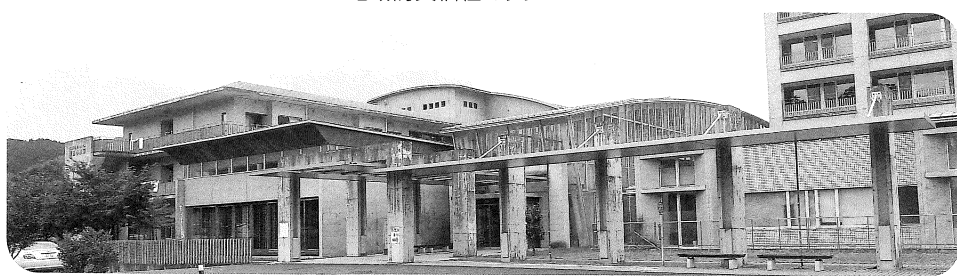
問 『地域支え愛会議』は福祉課の所管。事業委託された社会福祉協議会との連携の濃さを聞きたい。

答 町長 『保健・医療・福祉』の三位一体の取

り組みは、智頭町独特のシステムで密な連携を保持している。わが町のすごい宝物を衰退させることなく、町全体で頑張っていきたい。



地域防災福祉マップ



保健・医療・福祉総合センター「ほのほの」

一般質問

問 近年、午前の外来診療時間帯には満車状態が多く、利用者が駐車に困っている。ほぼ全体の利用者が多いということなので、喜ばしいことではあるが、外来診療で病院に来る利用者は駐車する場所探しにウロウロせざるを得ないこととなり困る。外来患者数が減少している中で、駐車場は満車状態ということは不思議だが、改善のため何らかの対策が必要だ。



満車状態の智頭病院の駐車場。外来診療で利用する患者は駐車する場所探しにウロウロして困っており、改善のため何らかの対策が求められる。(撮影日:8月21日)

ちづびょういんちゆうしやじょう
智頭病院駐車場

町長／ヘリポート
枹外への誘導で確保
満車で困る。何らかの対策が必要だ



高橋 達也



答 町長 外来診療科目の多い日は、満車状態で駐車できないことは承知している。対策として、定期的な巡回を行いながら、やむを得ない場合はヘリポートの枹外(職員駐車場)への誘導により確保していきたい。

問 同僚議員が平成29年3月定例会、私が昨年6月定例会で質問し、今回で3回目の質問となる。
来年のオリンピック開催を照準にした、市民のスポーツ功績者に関する賞状などの収集と展示についての対応状況はどうか。

答 教育長 どこまでできるのかということの問題はあるが、やれる方向で検討してまいりたい。

答 教育長 国際競技大会での優秀成績者については引き続き調査研究を進めたい。国内大会での優秀成績者になると、対象者も多く賞状やメダル、カップなどの数は膨大で、展示場所や方法が難しい問題がある。



けんしゅう
スポーツ顕彰

3回目の質問、対応状況はどうか
教育長／やれる方向で検討したい



安道 泰治



SDGs未来都市

町長／民間資金の活用を検討

住民主体のまちお

こしが、評価選定され
たSDGs未来都市だ
が、この原点でもある
百人委員会やゼロイチ
を今後どのように進め
ていくのか。

れ選定された。

今後50年、あるいは
100年先も持続する
ために、民間資金の活
用を積極的に検討し、
SDGsの理念の一つ
である「誰一人取り残
さない」そして、第7
次総合計画の将来像で
ある「一人ひとりの人
生に寄り添える町へ」
が実現す
るものと
考える。

町長 SDGs未
来都市とは、持続可能
なまちづくりのため地
方創生に貢献する優れ
た取り組みを実践する
都市のことで、本町は
長年にわたるゼロイチ
や百人委員会の住民自
治の取り組みが認めら



百人委員会提案会の様子

少子化対策

産後ケア助成金の簡素化は
町長／利用者の状況に合わせ対応する

産後ケア事業だが、

智頭町は助成金が手厚
いにも関わらず利用さ
れていない。利用要件
が厳しいのか手続きが
面倒なのか、申請など
の手続きを簡素化する
考えはないか。

町長 産後ケア事

業とは、育児支援を必
要とする母子を対象に、
心身の安定と育児不安
の解消を図ることを目
的として実施している。
申請などの手続きにお
いても、可能な限り

少子化対策

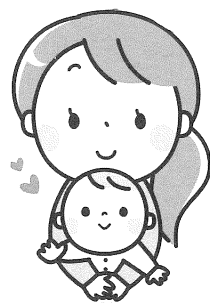
母子手帳交付までの受診料は
町長／必要性も含め検討する

母子健康手帳が交

付されるまでの妊婦の
受診料は有料になって
いる。少子化対策の一
環として、交付される
までの間と、14枚配布
されている妊婦健診の
受診票が14枚を超えた
場合も無料になるよう
助成してはどうか。

町長 現在まで対

象者から無料化の要望
は聞いていない。今後
の状況、情報を収集し、
その必要性も含めて検
討していく。妊婦健診
の受診券14枚を超えた
ところも対象者から要
望があれば、ぜひ検討
してみたい。



スムーズに行っている。
しかし、緊急時に利用
できることは大変重要
だ。利用者の状況に合
わせて対応していきたい。



※ゼロイチ 『日本1/0
村おこし運動』智頭町が平
成9年度に制度化。住民一
人ひとりが無(ゼロ)から
有(イチ)への一歩を踏み
出そうという運動。
これまでに、総務大臣表彰
を受賞。



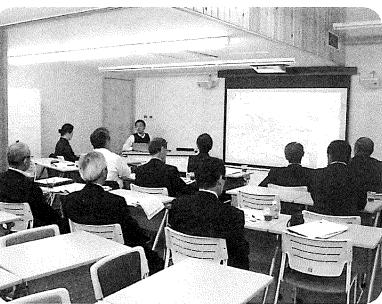
大藤 克紀



都市友好
海士町と友好都市締結の考えは
町長／交流の機運が高まれば考える

問 議会で島根県海士町を訪れた経緯もあり、今後交流を深めることで、お互いの施策、議会のあり方などを知る機会になると思うがいかがか。

答 町長 現在国内自治体との姉妹都市提携は行っていない。今後、職員の相互派遣研修、住民による交流の発展など、議会も含めさらなる交流の機運が高まった場合、友好都市協定の締結もあり得る。



海士町に視察に行き、まちづくりを学ぶ
智頭町議会(平成27年10月)

たいという希望は持っている。

消防活動
護岸への昇降梯子を設置する考えは
町長／補助金の活用を考えている

問 昨年7月の豪雨災害で、町内各所の護岸が崩落し、火災発生時の消火活動に支障を与えると思うが、水利確保のため昇降梯子を設置する考えはないか。

答 町長 河川区域内に構造物をする場合、河川法により河川管理者の許可が必要となり設置は難しい。

交通安全対策
ちづ保育園前に横断歩道を設置しては
町長／必要性は認識している

問 ちづ保育園前の町道に横断歩道が整備されていないため、保育園児、保護者などが安全に道路を横断できるよう、横断歩道の設置を考えてはどうか。

答 教育長 開園以前から横断歩道の必要性は認識している。智頭警察署、道路管理者などによる交通安全危険箇所現場確認会で設置の必要性が確認されており、関係機関に強くお願いしている。



ちづ保育園前の町道



中野 ゆかり



集落公民館

整備に関して補助を充実しては
町長／補助制度の見直しも含め検討する

問 集落の公民館はミニデイや各種会合に利用され、時には防災拠点にもなっている。現在、手すりや段差をなくすための整備に対しての補助はあるが、壁や屋根の改修についての補助がない。新築や改築に対して、補助制度を充実してはどうか。

答 町長 世帯数や人口の減少、高齢化など、今後も集落公民館を維持するための環境も変化していくことが考え



屋根修繕に関する補助がなく、困惑する集落公民館

られるので、支援の必要性やそのあり方、対象範囲などについて、現在の補助金制度の見直しも含め、検討していきたい。

定数管理

職員定数管理計画を作る考えは
町長／さらに深く検討する

問 本町の職員の推移は9年前からほぼ220人前後で推移している。本町における職員の定数管理についての考え方を問う。

答 町長 令和3年度までの10年間は、退職者が多く、職員平均年齢も一気に若返った状況で、年齢別の職員構成も平準化を図ることができた。まちが行っている事業に合わせた人数配置が重要になる。

問 令和2年4月から、法改正により臨時・非常勤職員の働き方が変わる。私は良い方向の法改正と思うが、町の人件費は確実に上がる。



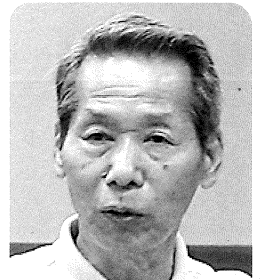
正規職員が136人いる智頭町役場(令和元年9月時点)

行政が行うべきもの、専門業者に委託するもの、町民にお任せすべきものなどを明確にしていきつつ、事業の廃止や見直し、統合などを行い、スリムな行政にしていくことで、職員定数の削減も可能になると考えるがどうか。

答 町長 時代の変化をとらえ、柔軟にあたる必要がある。本町の課題に対し、必要な定数配分をするともに、事務事業は見直しを行い、定数の適正化に努めていく。

問 具体的に職員定数管理計画を作るべきではないか。

答 町長 今も行ってはいるが、さらに深く検討していく。



誠一 本國



暑さ対策

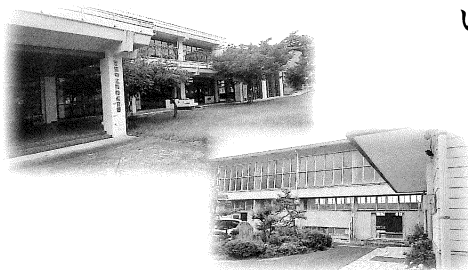
放課後児童クラブの暑さ対策は

教育長／来夏に向け協議・検討

問 現在、放課後児童クラブとして使用している旧諏訪保育園、旧土師小学校の暑さ対策について問う。

答 教育長 昨年本町では、全国ニュースでも取り上げられるほどの猛暑となり、議会でも学校の冷房について質問・意見をいただいた。今年夏前の6月には小中学校の各教室にエアコン整備が完了し、日頃の学習や、3年生の高校受験に向けた補

習授業など、快適な環境のなかで行うことが出来て良かった、勉強がはかどったなど生徒や学校関係者からうれしい声を聴いている。質問の低年齢児を中心に小学生の半数以上が利用する放課後児童クラブでは、夏の暑さ対策として、智頭放課後クラブでは昨年度までに全ての教室にエアコンを設置済み。また旧土師小学校では本年6月にエアコンを整備した。



放課後児童クラブの拠点である旧諏訪保育園(上)と旧土師小学校(下)

問 対策を行っている部屋などはよいとして、旧諏訪保育園の遊戯室、旧土師小学校体育館は暑いと思う。子どもたちを見守る支援員の方たちへの対応も必要ではないか。

答 教育長 扇風機などへ指を入れるなどの危険性への配慮を考えると、どういふことが子どもたちや面倒を見る指導員にとってベストなのかは来年の夏に向け協議・検討したい。

プールの検討

温水プールの利用はできないか

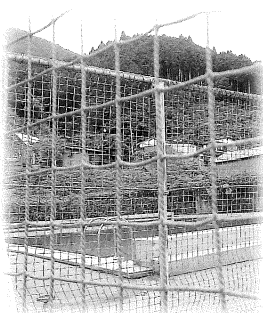
教育長／管理者から「対応は難しい」との回答

問 昨年及び今年も夏休みに小学校のプールが猛暑の影響で使えなかった。温水プール(NSIリプル)の利用など検討できないものか。

答 教育長 温水プールを管理する指定管理者に問い合わせたところ、平日は午前・午後ともにレッスンや教室があり、コース制限は困難で、監視体制などの点からも対応は難しいとの回答。

問 地域ごとに利用日を決めるなど工夫し、利用料が必要であれば町で補助するなど、夏休み中に一回もプールに入れないと言っているように検討できないか。

答 教育長 プール開放は子どもたちの健康増進、体力向上、交流などいろんな意味があり、小学校のプールを開放できる方策を、学校や関係者などと話していきたい。



智頭小学校プール



NSIリプル

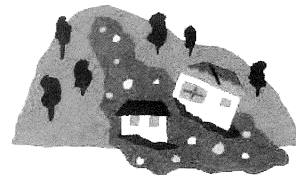
議会報告会における住民要望の回答

5月22日～24日に6地区で議会報告会を開催しました。その折、参加者の方々から出された要望を町長に提出しました。回答は次のとおりです。なお、ご意見も町長に提出しています。

① 災害復旧について

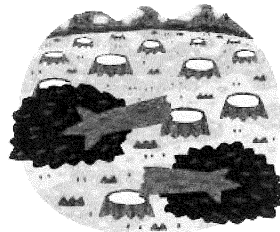
(1) 地域の事情や要望を聞いて事業を行ってほしい。

回答 この度、要望があった経緯を調査したところ、事前の地元説明が不十分で、支障物の無断撤去が見受けられたため、該当工事の発注機関に適切な監理・指導を申し入れた。



(2) 林道の災害復旧の場合、支障木は補助の対象にならないようだ、対象にすべきではないか。

回答 工事施工箇所の支障木については補償の対象になるが、例えば復旧箇所に至るまでの道中に存在する倒木などについては制度上、補償の対象にはならない。



② 地籍調査について

山林の調査の進度を一層高めるべきだ。

回答 現在も進捗を早める努力をしているが、今後も、財源の確保に努めながら関係者と連携し、山林に限らず、智頭町全体の調査進捗が図られるように引き続き努力する。



③ 恋山形駅について

トイレと駐車場に関して問題が発生している。役場と智頭急行の担当者へ

⑦ 防災について (昨年7月豪雨関連)

子育て支援センターも、指定の避難場所として対応してほしい。

回答 現時点では、職員の人数にも限りがあり、各地区一カ所ずつの避難所開設としています。自主開設した避難所については、職員を配置して開設している地区公民館などと連携して、避難所の運営をお願いします。

⑧ 火葬費用の補助について

お年寄りの多くは、智頭の発展のために一生懸命尽くされた方々である。ご苦労様という感謝の気持ちとして、火葬費用の一部を補助できないか。

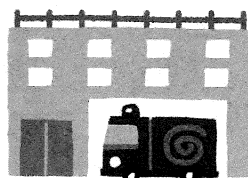
回答 火葬場の利用は、生涯の間で利用回数は少なく、家計の負担に大きな影響を及ぼすとは考えにくい。火葬場の費用助成については考えていない。智頭町へ功を尽くされた皆様には、タクシー助成など別の形で助成を継続したい。



⑨ 新八頭消防署智頭出張所に関する公表について

どこにできるかを早く公表すべきだ。

回答 東部広域で基本設計が発注されたので、予想図などが公表された段階で、広報などでお知らせしていく。



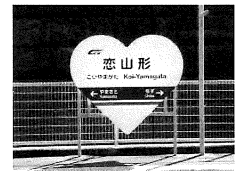
⑩ GPSの配布について

高齢者や、小中学生にGPSを配布している自治体がある。GPSがあることによって、行方不明者の生存率が高くなる。ぜひ考えてもらいたい。

回答 平成14年度から3年間、認知症の方を対象にGPS貸与事業を行ったが、様々な理由で返却され事業を中止した経緯がある。平成29年度からは、GPS機器1台を地域包括支援センターに置き、周知、啓発に努めているが、現在のところ希望者がいない状況だ。今後希望者があるなど、状況の変化により、貸与、助成などの事業を検討する。

が一緒に地元に来て、実情を把握すべきだ。

回答 現状については、ある程度把握している。地元集落から仮設トイレの設置要望が提出されている。(この回答後、9月定例会にて、今年もツアーが行われるようであれば、2ヶ月間仮設トイレを設置することになった。)



4 報告について

工事関係(道路・堆雪帯・融雪・護岸工事)などの立会いや陳情・

要望を地元が行った後、途中経過や報告を速やかにしてほしい。

回答 内容を精査し、町で対応できない案件は国や県にその状況を伝え対応を要望しているが、回答があるまでにか
よりの時間を要するケースもある。速やかな対応ができる
よう心がけるとともに、国や県に対しても方針などの決定に時間を要する
案件については随時、状況説明を行うなどの対応をお願いしていきたい。



5 森林環境税について

森林環境税は、人口割ではなく面積割を重視するよう、国に働きかけてほしい。

回答 森林環境譲与税の譲与額の10分の3に『人口』が加味されることについて、多方面からその問題点を指摘されている。譲与基準の見直しについて、あらゆる機会を捉えて国に働きかけていく。



6 薪ストーブ導入補助について

薪ストーブ導入に補助はあるが、燃料が町外産材であれば、智頭産材の有効利用にならない。薪にも補助してはどうか。

回答 薪ストーブの設置には高額な経費を要することから、



その一部を支援しているが、日常的な薪の調達への支援は考えていない。

11 駅前整備のビジョン作成について

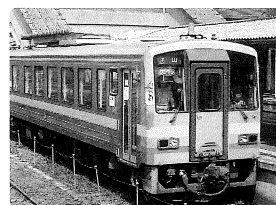
森林組合が移転したが、将来の産業会館の廃止や新図書館の整備など、駅前整備の全体像を整理検討し、町民に夢を提供すべきではないか。

回答 将来、必要となる役場庁舎と総合センターの整備構想とあわせ、町民の意見を取り入れた検討を行っていく。

12 因美線の存続について

乗客数が減少し、このままでは津山まで行けなくなることを心配している。廃止されないよう検討が必要だ。

回答 JRに対し要望していくが、沿線住民の利用促進のご協力をお願いしたい。



13 ひかり電話(固定電話)の料金改善について

使っていないのに毎月約5千円の請求がくる。智頭町と若桜町は割引対象外になることで腑に落ちない。改善してほしい。

回答 毎月5千円の利用の場合、インターネット接続が可能なプランを契約されていると考えられるため、インターネットを利用されていないのであれば、プラン変更をお勧めする。

また、智頭町と若桜町が割引の対象外という件については、両町のような中山間地域では通信会社による独自参入が見込まれないため、国の補助事業により自治体が光回線を整備し、価格差の解消を進めてきた。本町ではNTTと賃貸借(IRU)契約を締結している。このため、民間各社が提供するサービスの対象外となる。

プラン	ファミリーライト	ファミリータイプ1	ファミリータイプ2
告知放送	○	○	○
町内無料電話	○	○	○
町外通話	○	○	×
インターネット	×	○	○
料金(税抜き)	1,560円	4,800円	4,300円

ご存知ですか

智頭町議会 1人分の資料の一例



この資料を年間を通じて13部(議会)と20部(執行部)コピーして作ります。

議会の資料、ペーパーレス化を検討中

議会改革の一環として、議会資料の省力化と議会審議の効率化に向けて、タブレット端末を導入するための先進地視察を行いました。

期日：令和元年8月21日

場所：鏡野町議会(岡山県苫田郡)

参加委員：議員全員

概要：鏡野町議会は、議員の利便性向上と、執行部や議会事務局の負担軽減のため、平成29年4月からタブレット導入を施行しました。

鏡野町の情報：人口 12,907人

議員数 15人

主な質問

● 費用の削減効果は

年間約120万円(用紙や印刷代など)

● 作業効率面での効果は

議案等の配布・差し替え、保管など数値に表せない労務の削減効果がある。

● 維持管理費は

初年度：約530万円(講習会費用、消耗品、通信費、使用料)

2年度以降：約420万円(通信費、使用料)

(執行部を含めた37台分 本体代は通信費に含まれる)

● セキュリティー、守秘義務は

・使用基準を制定しているが、各自で責任をもって対応している。

・通常の議会議員の扱いで、タブレット化で特別の定めはない。

・議員に提出された議案は採決前であっても公開可能。(個人情報除く)

● 不得意者への対応は

・新人議員、新任課長等に対して説明会を開催。あとは個人対応。

本町で導入する場合の要検討事項

(1) 議員の守秘義務

鏡野町議会は公開を基本として運用されており、本町とは前提が異なる実態にあります。タブレットに入る議案等の情報が安易に外部へ漏れないよう、慎重に対応する必要があります。

(2) 費用対効果

ペーパーレス化による費用削減額以上に、導入後の維持管理費が増加することに対して、十分な検証と判断が必要です。

(3) その他の諸課題

不得意者への対応、経費負担、紙媒体使用の併用期間などは、本町に馴染む方法で検討すべきだと感じました。

今後もしっかり検討していきます。

議員報酬

9月定例会において『特別職の報酬等に関する審議会』の条例を可決し、10月下旬(予定)から議員以外の委員により検討が始まります。

第44回
部落解放・人権西日本夏期講座

■期日 6月26日～27日

■場所 香川県高松市

レクザムホール

■参加議員 高橋達也・岩本富美男・

大藤克紀

■内容

- ・語り継ぐ島の暮らしとハンセン病問題
講師：森和夫氏（大島青松園自治会長）
- ・部落差別の解消を進める教育
講師：森実氏（大阪教育大学研究センター教授）
- ・シングルマザーの不安と孤立の解消をめざして
講師：赤石千衣子氏（NPO法人しんぐるまぎーずフォーラム理事長）
- ・障害者のリアル×東大生のリアル
講師：野澤和弘氏（毎日新聞論説委員）

分科会は2会場であり、すべての講演を聞くことはできなかったが、さまざまな形の差別や偏見が今なお広く社会に存在しているなど、問題は多く残されていることを実感し、差別をなくしていく行動に一層傾注する取り組みが必要であると感じました。

『育みの郷構想』と『産後ケア』に係わる現地視察

■期日 7月16日

■場所 産後ケアやわらかい風（鳥取市）

■参加者 議員11人 議会事務局2人

■概要 「産後うつは7人に1人。男性が子育てに係わることを、社会が許さない現状がある。困った母親は行政に行かない、色々と聞かれるのが嫌で面倒。行政は利用者目線ではない。」など、川口映子代表の言葉は重く、産後の母親の負担などに目を向け、行政として支援する必要性が大いにあったと感じました。



やわらかい風、施設内にて

畜産業の取り組みを学ぶ
奈義町議会との交流会

■期日 8月23日

■場所 奈義町役場（岡山県）

■参加者 議員11人 議会事務局2人

■概要 毎年交互に開催しており、今年度は奈義町に伺いました。

奈義町では、産地間競争におけるブランド化に向け、肉用牛に『なぎビーフ』と銘打ち、生産から消費に至る関係者及び関係団体を構成員とする推進協議会を設立し、販売普及の様々な取り組みを進めています。



奈義町役場会議室にて

ちづ 智頭議会 だより



町の花
どうたんつじ

鳥取県智頭町議会

第148号

発行：令和元年10月18日

智頭の思い出シリーズ37

写真：昭和30年代

鳥取営林署 沖ノ山森林鉄道

沖ノ山国有林から伐り出した木材を台車に積み、運び出す様子。この鉄道は、大正11年に敷設が開始され、昭和42年に廃止された。現在、旧山形小学校の中に『智頭の林業関係資料展示室』が常設されており、176点が鳥取県指定有形民俗文化財として指定された。

☆決算認定で付帯意見…P3

☆おせっかい奨学金条例で賛否…P5

☆9人の議員が町政に質問…P7